



6月号 令和元年5月31日発行

荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町694番地 [TEL 911-0149]

アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



「心地よい緊張感と達成感、楽しさ」 子どもたちの成長にとって大切なもの

校長 伊藤 智樹 (いとうともしき)

「つくろう明日 わたしはチャレンジャー」これは荏田小学校学校教育目標の合い言葉です。この合い言葉のもと、子どもたちが問題解決力、他者を思いやる心、協働していく力等を身につけていく教育活動を進めていくことが学校に求められる使命です。

子どもたちの成長にとって心地よい緊張感は栄養剤のようなものです。どれだけ教師が心地よい緊張感を味わえる場面を設定することができるのかが重要です。少し前の話になりますが、4月に種もみ引き継ぎ式がありました。種もみを受け取る5年生の子どもたちは引き継ぎ後に朝礼台で話をしました。「とても緊張したけど朝礼台で受け取って良かった」と感想を述べていました。また、先日行われた全校遠足を通して中心となって活躍した6年生の子どもたちの達成感を感じることができました。

「楽しさ」とは「分からないことが分かるようになった楽しさ、できなかったことができるようになった楽しさ」「物事を創り上げていく楽しさ」です。

「心地よい緊張感と達成感、楽しさ」には前提があります。それは「目標に向けて（課題解決に向やけて）真剣に取り組むこと」です。学校行事はもちろんのこと、日常的に行われる教科学習の中にも「心地よい緊張感と達成感、楽しさ」が必要と考えます。そのために1日の学校生活の時間の中で約8割をしめる教科学習で「緊張感と達成感、楽しさ」が実感できる学習のプロセスの充実が重要です。教科のごとの基礎・基本的な知識は当然必要です。

下記の内容は新学習指導要領で子どもたちに育成する資質・能力としてあげられたものです。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養 ② 生きて働く知識・技能の習得 ③ 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成 |
|---|



その知識を身につけるためだけに教科書の内容を説明するだけの授業、黒板を子どもに写させるだけの授業では上記の資質・能力は身につけません。一つの問題に対して多様な考えやアプローチ方法があります。正解が一つとは限りません。子どもたちが具体的な事実や事象、他の人の意見をふまえながら個人や学級集団で考えることが求められています。

先日の学校説明会でもご説明いたしましたが、令和2年度より小学校は新しい学習指導要領のもとに教育活動を展開することになります。今年度から移行期間として一部取り組んでいる内容もありますが、新指導要領改定のポイントとして、「主体的・対話的で深い学び」「学びを人生に生かそうとする学びに向かう力・人間性等」などがキーワードとして上がっています。

「つくろう明日 わたしはチャレンジャー」その達成に向けてチャレンジしていく姿は、新学習指導要領が目指す「学びに向かう力・人間性」の育成に繋がります。教職員一同、全力で取り組んでまいりますので引き続きご支援ご協力をお願いいたします。